

吹連いばらき

発行所 茨城県取手市山王 1000
 聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校内
 一般社団法人 茨城県吹奏楽連盟
 電話 0297-63-5120
<http://www.iba-sui.jp/>
 発行人 川名孝夫
 印刷所 山三印刷株式会社



写真提供：(株)フォトライフ

〔第63回茨城県吹奏楽コンクール〕

水戸市民会館グロービスホール
(聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校)

一方、5月の東関東マーチング事業WOBは、雨天により急遽会場を国営ひたち海浜公園から大洗総合運動公園体育館に変更いたしました。あわただしい中大会運営にあたられました係員の皆様のご協力により、順調に進行できましたことに大変感謝いたします。また、8月の茨城県マーチングフェスティバル第60回記念大会は、初めて「かみす防災アリーナ」を会場とし実行委員、係員そして県東地区の皆様のご協力により盛大に大会運営できました。またアンサンブルコンテストでは、参加グループ数が大幅に増えて熱のこもった演奏を繰り広げてくれたことは、明るい兆しです。その結果令

この動きは『茨城県部活動の運営方針』に「中学校においては令和7年度末、高校においては令和8年度末を目処に、休日に部活動指導を行う教員をゼロに」との目標が掲げられています。その具体的な着地点が見通せない中ではあります。が、本連盟が部活動の新しい姿を模索し、児童生徒に目を向けた地道な活動と、その方向性を見出すことに繋がることを願っています。

私たちの取り組みが吹奏楽への情熱とその響きで、多くの人に「生きる勇氣と喜び」、「夢」をもっていたらけると信じています。そして一歩ずつ前進していきますよう皆様の御協力を切に願っています。

9月に迎えた東関東大会を終え、グロービスホールの音響をはじめその充実した内部施設は、今後の連盟の活動に明るい見通しを抱かせてくれました。のちに出演された県内はもちろん県外の団体やその指導者から多くの賞賛の声をいただいたことは、私たちにとって大きな励みとなりました。

8月の吹奏楽コンクール県大会は、当連盟の活動に大きな希望を与えてくれました。8月の吹奏楽コンクール県大会は、9月に迎えた東関東大会を終え、グロービスホールの音響をはじめその充実した内部施設は、今後の連盟の活動に明るい見通しを抱かせてくれました。のちに出演された県内はもちろん県外の団体やその指導者から多くの賞賛の声をいただいたことは、私たちにとって大きな励みとなりました。

このように、私たちは年間を通して順調に活動を進めてまいりましたが、各大会を通して社会全体の様相の微細な変化を感じざるを得ませんでした。2020年からのコロナ対応、加えて学校現場における部活動運営方針の動きに直面し、模索し続けた4年間となりました。今後この動きは『茨城県部活動の運営方針』に「中学校においては令和7年度末、高校においては令和8年度末を目処に、休日に部活動指導を行う教員をゼロに」との目標が掲げられています。その具体的な着地点が見通せない中ではあります。が、本連盟が部活動の新しい姿を模索し、児童生徒に目を向けた地道な活動と、その方向性を見出すことに繋がることを願っています。



夢をもつて前進

理事長 川名孝夫

令和5年5月、新型コロナウイルスの対応が5類感染症へ移行されて多くの規制が緩和され、収束の兆しが見られますが、まだ油断することなく臨んでいかなければなりません。そして同年7月にオープンした新しい水戸市民会館は、当連盟の活動に大きな希望を与えてくれました。8月の吹奏楽コンクール県大会は、9月に迎えた東関東大会を終え、グロービスホールの音響をはじめその充実した内部施設は、今後の連盟の活動に明るい見通しを抱かせてくれました。のちに出演された県内はもちろん県外の団体やその指導者から多くの賞賛の声をいただいたことは、私たちにとって大きな励みとなりました。

一年を振り返って

変化

県立鹿島高等学校

石川 茉莉江

現任校に赴任して令和5年度で5年となりました。今までの卒業生も含め、生徒たちはとても素直で優しく、私も生徒たちに助けられながら吹奏楽部の運営に取り組んできました。そのような中、令和5年度の吹奏楽コンクールにおける生徒たちの目標は県大会金賞でした。しかし、結果は銀賞。「悔しい」と泣きじゃくる3年生たちを見て、自分の不甲斐なさを感じると同時に、生徒たちの変化に気が付きました。以前は結果に対して、悔しいけれど「銅賞なのは仕方がない」という雰囲気がありました。しかし、この数年間で「仕方がない」から「もっと上手になりたい」というように、意識が変化していくのを実感しました。コロナ禍にもめげず、地道に練習に取り組み姿を後輩に見せてくれた卒業生たち、それを引き継ぎ真摯に音楽に向き合い、部をまとめてくれた3年生たちのおかげだと思います。

取り組んでいく覚悟です。

大学でも吹奏楽を

筑波大学吹奏楽団

篠崎 磨人

また、本校では令和2年度に附属中学校が開設されました。中学生が部活動に加わり、6年間の歩みを視野に入れたより充実した練習ができるようになったと実感しています。高校生たちは、中学生のために基礎練習やパート練習の内容を日々工夫していますが、それは高校生自身の技術向上にも繋がっています。

さらに、お互いに楽しく活動できるように、伝え方や教え方を考えるようになり、そういった面でも、成長が見られるようになりました。高校生と一緒に練習する中学生は上達が速く、高校生にも引けを取らない演奏をしてくれます。部活動以外でも、校内で声を掛け合う姿が見られ、中高一貫校ならではのよさがあると思います。

吹奏楽コンクール、アンサンブルコンテストなどの大会結果が全てではありませんが、それまでの過程を大切に、一層充実した指導ができるよう私自身も努力をしていきます。「吹奏楽をやって良かった。」「これからも音楽を続けたい。」「生徒が思えるように、生徒達と接し、部活動運営に

しております。

紡ぐ

常総市立水海道中学校

倉持 香

筑波大学吹奏楽団の走り出しは3月、新潟県南魚沼市への演奏旅行から始まりました。指揮者には作曲家の伊藤康英先生をお招きし、小学校での演奏会や吹奏楽イベント等に参加しました。

伊藤先生と当団とは40年来のご縁があり、トレーナーとして毎年御指導いただいております。本年度も新潟に赴く予定で、着々と準備を進めております。

昨年は諸大会事業にも積極的に取り組む、東関東吹奏楽コンクールでは銀賞を、県アンサンブルコンテストでは木管八重奏が金賞代表をいただきました。定期演奏会は年に2回、春と冬に開催しております。12月に開催した第90回記念定期演奏会は、当団の歴史に残る素晴らしい演奏会となりました。記念事業として松雪明先生を客演にお招きし、Paul Crestonのサクソフォン協奏曲を演奏いたしました。その他、訪問演奏や演奏指導にも精力的に取り組ん

我々が立ち向かうポスト・コロナにおいて、常に再認識させられるのは「人が人とながり、そして支え合う」ということの大切さです。一人一人が自身の演奏や表現と向き合い、役割を担い、支え合いながら構成されていく音楽。磨き上げた音楽を披露する舞台は、大学生となつたいまもその輝きを失いませぬ。輝きを得るまでの道程は技術だけでなく一人の人間として成長できる時間なのだと感じます。我々がそうして育ってきたように、現役の中高生にも吹奏楽がもつ輝きや感動を存分に感じさせてあげたい、そう思うのです。

大学における吹奏楽活動は、顧問教員などの人材養成、今後具体化されていく部活動の地域移行に際し、その存在感が一層強いものとなっております。当団はこれからも学校教育や県内外の地域と連携し、豊かな吹奏楽文化の発展に寄与して参ります。おわりに、日ごろ御尽力いただきありがとうございます。茨城県吹奏楽連盟のみなさまに厚く御礼申し上げます。

コロナ禍によって生活が変わり、同時期に部活動の地域移行、働き方改革が叫ばれるようになり、教師にも生徒にとっても大きな変化があった3年間でした。土日だけでなく、平日の練習時間は約1時間。曲練習や合奏をすることが難しくなりました。本校も例外ではない上に、昨年度の3年生が入部したときの上級生は6名で、選曲や合奏はもちろんのこと「先輩から学ぶ練習する」ことが困難を極めた時期が数年続きました。これまで紡いできたパフォーマンスや練習方法、取組みの姿勢など、これまで積み上げてきた伝統をどのように残していくか、どのようなスタイルを確立していくか、これまでにないことを創り上げていくことの難しさを痛感しました。そんな中、卒業生達が「部活の楽しさを知り、学校生活を充実させて欲しい。頑張っている中学生の力になりたい。」「と練習に付き合ったり、話をしたりと力を貸してくれました。そして、私の思いを

忘れていたこと

明秀学園日立高等学校

瓦吹 弘樹

汲み取り、つないでくれる大きな存在となり、とても心強かったです。彼らは、私の自慢の教え子であり、大切な仲間です。

そんな試行錯誤の中で活動してきた生徒の努力によって、令和5年度東関東大会へと進むことができ、喜びと達成感を皆で感じることができました。しかも、それをずっと支援してくれた卒業生、またその保護者の方々と味わえたことは、私にとって何よりの財産となりました。皆の笑顔と涙は一生忘れられません。

これからもできる限りこのような素晴らしい瞬間を体験させていきたいです。また、教師を志した若い先生方にも生徒と共に感動や悔しさなど味わってもらいたいと思っております。私に何ができるのか。まだまだ私自身が未熟ではありますがありますが、先輩方からの学びや思いを紡いでいく一端を担えるよう努めていきたいと思っております。

最後に、活動を理解し、協力してくださった皆様に、この場をお借りして感謝申し上げます。

で6年が経ちます。これまでコンクールで金賞を受賞し上位大会に出場することなど結果ばかりを求めすぎていたことが、生徒たちから音楽を

考えることや音楽に感動すること、さらには音との対話や音楽を通して人と繋がる時間を奪っていたと、深く反省しています。生徒たちの演奏が上手くないのは演奏の手法を知らないからであり、私自身の音楽以外の部分や日常生活が充実していないからだと反省することがたくさんありました。ホール練習で2階席から怒鳴ってしまったこともそのひとつです。それでもついてきてくれた生徒たちに感謝しています。

これからも、吹奏楽の活動を通して生徒が成長することを第一に、音楽の素晴らしさを伝えるとともに、明秀日立を卒業しても音楽の良さを伝えられる人たちを送り出したと思います。

また、音楽を通して繋がるたくさんの方々への感謝すること、生徒自身や聴いてくださる方々の心に残る音楽を作り届けていくことが「間違いない！僕のやるべきことだ!!」と確信しています。「Play with Heart」

新たな挑戦！

大子町立大子中学校

尾花 俊太郎

「合同でコンクールに出場してもらえませんか。」

昨年4月23日の中央地区の協議会の後、話かけてくださったのは常北中の住谷先生でした。「あの常北中学校と、それも実績のある住谷先生と合同を組む！」正直、頭がパニックになりそうでした。

年度始めの2・3年生の人数は大子中が13人、常北中が6人。曲も大子中がすでに練習しているものに合わせてくださるとのこと、パートもお互い足りないところが補えそうな編成でした。

学校に戻って早速生徒に話があったことを伝えました。2年生は賛成でしたが、3年生は賛成派もいる一方で「合同ではなく、『大子中』として大会に出たい」「東日本大会への出場権がなくなるのは嫌だ」など、様々な思いが交錯し、毎日のように話し合いをし、結果、合同での参加を決めました。

5月20日から、土日は片道約50km、1時間の道のりを行き来する生活が始まりました。大子中は町の公用バスで、常北中

は保護者送迎でお互いの学校へ移動しました。練習は土日にセクシオン練習や合奏を行い、そこでの課題や問題点を平日の個人練習で克服していきました。当初はよそよそしく接していた生徒たちでしたが、帰りには手を振って見送ってくれたり、高校見学で一緒に話をしたりするなど、だんだんとお互いの距離が縮まってきました。そんな生徒の努力が実り、大子中として、2年連続で東関東大会へ出場させていただきました。

大子中の吹奏楽部の目標として生徒が立てたのが「笑って終われるコンクールにする」でした。東関東大会後、はればれとした生徒の表情をみるとこの目標は達成できたように感じます。

最後になりますが、約半年間合同で活動するにあたって付いてきてくれた生徒を讃えると共に、理解を示してくれた両校校長先生はじめ、部活指導面でのサポートはもろろんのこと、生徒指導や教科指導でもたくさんアドバイスをくださった住谷裕美先生、たくさんのお援をしてくださった全ての方々にこの場をお借りして深く感謝申し上げます。

各事業部の活動

コンクール事業部

加藤 勝弘

令和5年度の吹奏楽コンクールは、新しく完成した水戸市民会館での開催となりました。初めての会場で、出演者・係員とも戸惑った点多くあったことと思います。しかし、皆様の御理解・御協力のおかげで、無事全日程を終了することができました。本当にありがとうございます。

また、吹奏楽コンクール規定の変更がありました。それは、「中学生の部」「高校生の部」という部門名称変更です。変更に伴い、複数校の合同、地域バンド、特別支援学校の参加が認められることとなり中で、今回中学生の部B部門で、『城里町立城北中学校・太子町立太子中学校合同バンド』が、茨城県代表として東関東吹奏楽コンクールに出場することができました。今後も、時代の変化とともに吹奏楽コンクールも大きく変わっていくことが予想されますが、皆様の一層の御理解・御協力をいただきながら、運営していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

アンサンブルコンテスト事業部

山田 賢哉

令和5年度、県アンサンブルコンテストに、地区大会、県大会合わせて627グループという多くの団体に参加いただきました。そのステージでは各グループの個性あふれる演奏が会場いっぱい響き渡りました。中でも部活動改革が進む中、練習時間の確保に苦慮されていると思います。そのようなことを感じさせない素晴らしい演奏が続きました。皆様の努力に拍手を送りたいと思います。

また、各大会が無事終了できたのは、出演者、各団体関係者、係員、補助員として大会運営に携わっていただいた方々、そして、ご来場いただき、熱のこもった演奏にたくさん拍手をくださった多くの皆様の御理解・御協力があったこそだと思います。この場を借りて感謝申し上げます。

今後のより良い運営のために、各団体の皆様の忌憚のないご意見を各地区アンサンブル事業部員までお寄せください。どうぞよろしくお願いたします。

マーチング事業部

松崎 佳介

新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことを受け、令和5年度は通常通りの大会を行うことができました。全てがコロナ禍前に戻ったわけではではなく、感染症対策の一環として生まれたフロアウォームアップ等の「良いこと」を活用し、コロナ禍以前よりもより良い大会になるよう心がけ運営しました。皆様のご協力のおかげで、素晴らしい大会になりましたことをこの場をお借りして御礼申し上げます。

さて、令和6年度は、全日本小学生バンドフェスティバルの実施規定変更、部活動改革への対応が課題です。具体的には、新設された「ステージパフォーマンス部門」を茨城県としていかに活用していくか、動きと音楽両面での鍛錬が必要で、単純に倍の時間を要するマーチングをいかに効率よく吹奏楽活動に取り入れ、効果をもたせられるようにしていくかです。いずれも一筋縄ではない難しい課題ですが、子どもたちの「マーチングもやりたい」という意欲が失われないよう、より良い方策を皆様と共に考えていきたいと考えていますので、引き続き御協力をお願いいたします。

財務部

内藤 良

令和5年度の財務部活動をご報告いたします。

令和3年より一般社団法人となり、各地区の会計を県と統一する方向で整備を進めております。令和5年度は吹奏楽コンクールやアンサンブルコンテスト、マーチングコンテストの各事業をはじめ、コロナ禍以前と同レベルの活動を目指していく中で、吹奏楽連盟全体として適切な財務運営の姿を模索してまいりました。水戸市民会館で県大会を開催できた点は素晴らしいことである一方、経費は増大し、理想的な活動と財務運営のバランスをいかに解決していくかという課題が残りました。

今後、人口減や部活動の地域移行、さらに物価上昇などの環境変化の中で、持続可能な吹奏楽活動が行えるよう、得られた課題の解決に向けて検討を進めてまいります。

皆様には、県ならびに各地区の運営に対して、引き続き御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

審査部

熊坂 義則

審査部では、吹奏楽コンクール・アンサンブルコンテスト終了後に審査部会を開き、審査結果の検討と次年度招聘する審査員の検討及び交渉を行ってまいりました。

例年、この「吹連いばらき」が会員の皆様が届く4月に審査員名を公表していましたが、今年度より公表時期・方法が変更となります。公表時期・方法については追って連絡します。

吹奏楽コンクール・アンサンブルコンテストにおいて、審査は最も信頼されなければならぬものです。現在、審査を7名で行い、最高点と最低点をカットすることで、演奏に対する評価の公平性を確保しています。また、同じ審査員に長期にわたって依頼することを避けています。

会員の皆様におかれましては、審査員公表後は一切の接触をもつことはできないことに御理解いただきますようお願いいたします。今後も透明性・信頼性を第一に考えた運営に努めていきます。

各地区の活動

県東地区

成田 啓毅

令和5年度も吹奏楽連盟加盟団体の皆様の御協力により、地区主催の事業を無事に終えることができましたこと深く感謝いたします。

新型コロナウイルス感染症も収束を迎えつつある中、各事業もほぼコロナ禍以前の状態に戻ってまいりました。令和5年度は感染症予防に留意した上で、吹奏楽コンクールとアンサンブルコンテストにおいて他団体の演奏を鑑賞可能となりました。互いに演奏を鑑賞することで、「あんな風に演奏してみたい!!」と、生徒達から前向きな言葉も聞こえてきました。これまで制限が多い中でコンクール、コンテストを経験してきた生徒たちは、演奏を鑑賞することで、音楽活動への良い刺激となったようです。

他の事業として、毎年コンクール前に実施しているプレコンは無観客で開催し、初心者講習会においては、各市でパートを限定して開催することができました。

今後は、各事業とも感染症予防を徹底させると共に事業内容を充実させて取り組んでいきたいと思っております。

県南地区

郷 恵子

本年度も加盟団体や地域の皆様の御理解・御協力により、各事業を無事に開催することができました。

昨年から引き続き、指導者講習会はバズセッションを実施しました。活動時間確保の難しい中、各学校や市町村での取り組みやアイデアを共有することができたことで、参加した先生方が前向きに部活動に取り組みとういう気持ちになる機会となりました。

また、普及推進事業として、2月にミュージックフェスティバルを4年ぶりに開催することができました。この事業は、小学生から一般団体まで幅広い世代が一堂に会して創る演奏会で、今回で18回目となりました。4年前の資料と見比べると、今回現状と合わない部分がいくつかありました。各事業においても同様ですが、時代や環境の変化にあわせて改善すべきことは見直し、残すべき部分は大切に守りながら、今後もより良い大会や演奏機会を確保していきたいと思っております。

県西地区

稲毛田 一輝

約3年間続いた新型コロナウイルス感染症による活動制限も、5月に5類感染症に移行し、令和5年度はコロナ禍以前の連盟活動をようやく行えるようになりました。

吹奏楽コンクールに45団体、アンサンブルコンテストに104グループが地区大会に出場しました。会場の駐車場利用や改修工事による会場変更等、様々な制約はありましたが、両大会とも無事に開催することができました。加盟団体の皆様にたくさんのご協力をいただき出場された団体間や奏者同士で切磋琢磨をし合える大会となりました。心から感謝を申し上げます。

普及推進事業としては、コロナ禍明け初となる楽器別の講習会を実施することができました。基本的奏法から楽器の手入れなど、県西地区全体の吹奏楽のレベル向上を図ることができました。あわせて指導者講習会も行いましたが、部活動時間の制限に伴って短時間で効率よくどのように練習するかについて苦慮されている様子が伺えました。講習会の内容についてもさらに検討を重ねていきたいと思っております。今後も、加盟団体の皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

県北地区

門三野 洋平

令和5年度も、加盟団体や指導者の皆様の御協力により、事業を終えることができましたことに感謝申し上げます。

吹奏楽コンクール、アンサンブルコンテストでは、大きな制限もなく運営することができました。生徒の皆さんは、日頃の努力の成果を多くの方々に聴いてもらえたり、他校の演奏を聴いて刺激を受けたりと充実した1年でした。また、チケット販売を外部に委託したり、表彰式を行わなかったりと、業務の見直しを図りました。

そして、部活動の地域移行に向けて、各市町村教育委員会や各施設と議論を重ねてきました。その結果、練習場所として施設を開放していただいたり、合同演奏の機会を設けていただいたりと、一歩一歩前進してまいりました。時代の流れに合うよう変えていくことも必要ですが、「生徒のため」を常に考え、来年度以降も事業の計画・運営をしていこうと思っております。

中央地区

塩澤 恭平

令和5年度は、コロナ禍前とほぼ同様に地区の行事を開催することができました。会員の皆様には、細かな変更の対応等、多くの御協力をしていただきました。心から感謝申し上げます。

さて、私達は吹奏楽コンクール、アンサンブルコンテスト共に「コロナ禍前と同様に開催する」ことを目指して準備・検討を重ねてきました。部活動の活動時間縮小を考慮しつつ、出演団体の動線やタイムスケジュール等を見直した結果、昨年度のような形での開催となりました。大会当日は、おかげさまで各団体による息の合った演奏と聴衆の拍手が鳴り響き、すばらしい時間になったと思います。

また、昨年度は初心者講習会を復活させることができました。感染症対策と会場校の都合により、3日間に分けての開催となりましたが、たくさんの学生に参加していただくことができました。練習時間の縮小から、このような個人の技能向上のきっかけとなるような講習会は、たくさんニーズがあるのではないかと実感しています。令和6年度におきましても、茨城県の吹奏楽普及発展のために、地区を牽引して取り組んでまいります。具体的には、昨年度以上に工夫して各コンクールの運営、講習会の企画等ができたらいと考えております。これからも皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

大会の記録

※下線は代表団体

▶第63回茨城県吹奏楽コンクール			
地区大会 (県東)	7月23日	神栖市文化センター	(県南) 7月17日～19日 牛久市生涯学習センター
(県西)	7月22日、23日	結城市民文化センター	(県北) 7月22日、23日 常陸太田市民交流センター
(中央)	7月22日、23日	ひたちなか市文化会館	
県大会	8月9日～13日	水戸市民会館 グロービスホール	
		金賞	銀賞
小学生の部			
朝日賞 三の丸		村松、酒門、常磐、三の丸、白方、笠原、阿見、大岩田	水海道、佐野、千波
中学生の部A部門			
朝日賞 大島		勝田三、谷田部東、大島、取手一、田彦、伊奈、大久保	佐野、泉丘、勝田一、結城、千波、下稲吉、古河二、見川、阿見、愛宕
中学生の部B部門			
朝日賞 磯原		笠原、水海道、水戸一、磯原、並木中等、多賀、境一、常北・大子、下館南、千代川	那珂四、大徳、三和、中郷、土浦三、けやき台、大洗一、石下西、御所ヶ丘、茨城、水戸二、日立一高附属、守谷、古河一、笠間
高校生の部A部門			
朝日賞 常総学院		大成女子、明秀日立、霞ヶ浦、茨城、常総学院	日立一、水戸一、牛久栄進、古河三
高校生の部B部門			
朝日賞 取手聖徳女子		銚田一、水戸女子、竜ヶ崎一、下妻一、水戸三、土浦二、取手聖徳女子、古河中等、日立北、境	多賀、並木中等、清真、佐和、伊奈、鹿島
大学の部A部門			
朝日賞 茨城		茨城、筑波、常磐	茨城工業高専
職場・一般の部A部門			
朝日賞 聖徳WE		日立市民、水戸市民、ひたちなか交響、聖徳WE、ひたちなかフィル	常陸太田市民、古河シティ、水戸交響
			土浦、愛♡Wind、取手交響
▶第29回関東吹奏楽コンクール			
高A	9月2日	水戸市民会館 グロービスホール	中A 9月3日 水戸市民会館 グロービスホール
高B	9月9日	君津市民文化ホール	小学 9月10日 君津市民文化ホール
中B	9月16日	よこすか芸術劇場	大、職・一 9月17日 よこすか芸術劇場
小学生の部		三の丸	常磐、村松、笠原、白方
中学生の部A部門			取手一、大島
中学生の部B部門		並木中等	水戸一、多賀、水海道
高校生の部A部門		常総学院	大成女子、霞ヶ浦
高校生の部B部門		取手聖徳女子、水戸女子、土浦二、竜ヶ崎一	水戸三
大学の部			筑波、茨城
職場・一般の部			日立市民、ひたちなかフィル
			水戸市民、聖徳WE、ひたちなか交響
▶第23回東日本中学校吹奏楽大会 中学校 10月7日 高等学校 10月8日 山梨・YCC県民文化ホール			
中学校部門			並木中等
高等学校部門		取手聖徳女子	
▶第71回全日本吹奏楽コンクール			
中学校	10月21日	高等学校	10月22日 愛知・名古屋国際会議
大学	10月28日	職場・一般	10月29日 都宮市文化会館
▶第60回茨城県マーチングフェスティバル 8月20日 かみす防災アリーナ			
A部門中学校の部			
朝日賞 大島		大島	水戸 Marchingband Blue Stone
B部門中学校の部			岩瀬西、勝田二
A部門高等学校以上の部			
朝日賞 大成女子		大成女子、大洗	
小学生バンドフェスティバル			
朝日賞 石川		石川	浜田
小学生バンドフェスティバル			
▶第22回東関東小学生バンドフェスティバル・第29回東関東マーチングコンテスト 10月1日 成田高等学校大講堂			
小学生バンドフェスティバル		石川	浜田
マーチングバンドの部			
A部門中学校の部			大島
B部門中学校の部			勝田二
A部門高等学校以上の部			大成女子
▶第42回全日本小学生バンドフェスティバル 11月18日 (土) 大阪城ホール			
		石川	

▶第58回茨城県アンサンブルコンテスト				
地区大会 (県東) 11月18日、19日 神栖市文化センター (県南) 11月24日～26日 小美玉市生涯学習センター (県西) 11月18日、19日 筑西市明野公民館 (県北) 11月11日、12日 常陸太田市市民交流センター (中央) 11月17日～19日 小美玉市生涯学習センター	県大会 (高、大) 12月22日 牛久市中央生涯学習センター (中) 12月23日 牛久市中央生涯学習センター (小、職・一) 12月24日			
小学生部門	金賞	銀賞	銅賞	
朝日賞 常磐(打三)	常磐(打三)、三の丸(管八)、村松(金八)、笠原B(金八)、村松(木三)、三の丸(CI三)、常磐(木七)、白方B(金八)	白方(打四)、千波(木四)、村松(Sax三)、阿見(打四)、笠原C(金八)、白方A(金八)、三の丸(打三)、阿見B(金八)、水海道A(金八)、阿見A(金八)	水海道B(金八)、佐野(管五)、笠原(打三)、千波(金七)、常磐(金七)、千波(管六)	
中学生部門	朝日賞 下館南(打三)	大島(打三)、水戸二(木八)、茨城(FI三)、下館南(打三)、並木中等(CI四)、茨城(金六)、古河中等(打五)、茨城キリスト教学園(木五)、下館南(Sax四)、古河中等(FI三)、笠原(金八)、佐野(打五)、古河中等(Sax五)、守谷(FI三)、並木中等(打四)、多賀(管八)、笠原(CI三)、守谷(金八)	藤代南(木三)、長山(打四)、土浦一附属(金八)、小川南(管三)、佐野(木三)、金砂郷(打四)、水戸一(金六)、並木中等(木三)、けやき台(木七)、八千代東(Sax五)、三和(管七)、千波(金四)、磯原(木八)、守谷(CI五)、谷田部東(木五)、勝田一(木八)、土浦一高附属(木七)、大子(打三)、大久保(木三)、古河一(打三)、笠原(木八)、金砂郷(金七)、石川(金三)、波崎二(木三)、竜ヶ崎一高附属(管八)、江戸川取手(木五)、水海道(CI三)	神栖四(金六)、八千代東(金八)、取手一(木五)、泉丘(木八)、神栖二(金八)、土浦一高附属(打五)、鹿野(打三)、日立一高附属(木八)、古河二(Sax四)、藤代南(管八)、鹿島高附属(管六)、勝田二(金八)、神栖四(木三)、平井(管五)、中郷(木八)
高等学校部門	朝日賞 常総学院(Sax四)	水戸一(CI三)、大成女子(金八)、取手聖徳女子(Tb四)、常総学院(CI六)、取手聖徳女子(打五)、茨城(打八)、常総学院(Sax四)、並木中等(CI五)、水戸一(Sax七)、大成女子(木八)、大成女子(FI四)、取手聖徳女子(管八)、茨城(CI八)	並木中等(FI四)、竜ヶ崎一(木八)、日立一(FI三)、古河中等(木八)、霞ヶ浦(木三)、明秀日立(打六)、古河三(打三)、茨城(FI四)、佐和(木八)、清真学園(Sax四)、霞ヶ浦(打六)、竜ヶ崎一(CI四)、鉦田一(打三)、明秀日立(金八)、境(CI三)、日立二(木三)、日立一(打五)、土浦一(打三)、古河中等(打五)、茨城キリスト教学園(木三)、明秀日立(木八)、土浦二(Sax四)、竜ヶ崎一(FI三)、土浦二(CI八)	清真学園(金八)、水海道一(FI三)、下館二(管七)、江戸川取手(木八)、鉦田一(金七)、藤代(木三)、水戸二(木三)、鹿島(木八)、古河三(CI四)
大学部門	朝日賞 茨城(CI八)	茨城(CI八)、つくば(木八)、茨城(金八)	茨城(木五)	茨城女子短期(FI三)、常磐(金四)
職場・一般部門	朝日賞 古河シティ(打七)	聖徳B(管八)、古河シティ(Sax四)、大成(木六)、古河シティ(打七)、古河三中OB(CI五)、聖徳A(管八)、“Legend Of Dragon”(金四)、水戸市民(木四)、大成(Eu四)、ひたちなか交響(CI三)、ひたちなか交響(Tp四)	阿見(金八)、阿見(管六)、水戸市民(Hr四)、光南(CI三)、あゆまみあな(Sax四)、取手交響(金四)、ひたちなかフィル(Sax四)、取手交響(木八)、茨城バルナッソス(金四)、Ensemble Brillante(金八)、土浦(CI五)	水戸一高OB(金四)、ひたちなかフィル(打三)、古河三中OB(Tb三)、古河三中OB(FI五)、土浦(金七)、メイプルローズ(Fg四)、聖徳(管六)、阿見(FI四)、ひたちなか交響(FI三)
▶第29回関東関東アンサンブルコンテスト 令和6年1月27日、28日 宇都宮市文化会館				
小学生部門	常磐(打三)	村松(金八)、三の丸(管八)、笠原(金八)	村松(木三)	
中学校部門	下館南(打三)	茨城(FI三)、大島(打三)	茨城(金六)、並木中等(CI四)、水戸二(木八)、古河中等(打五)	
高等学校部門	取手聖徳女子(Tb四)、常総学院(CI六)、常総学院(Sax四)	取手聖徳女子(打五)、大成女子(金八)、茨城(打八)	水戸一(CI三)	
大学部門		茨城(CI八)、筑波(木八)		
職場・一般部門	大成(木六)、古河シティ(Sax四)、古河シティ(打七)	聖徳B(管八)、聖徳A(管八)	古河三中OB(CI五)	
▶第47回全日本アンサンブルコンテスト 令和6年3月20日 高崎芸術劇場 職場・一般部門				
		大成(木六)		

市民バンドフェスティバル
2023

中澤 修史

新型コロナウイルス感染症の影響により2年間で中止となっていた「市民バンドフェスティバル」が、令和5年度『ひたちなか交響吹奏楽団』によるポップ



写真提供:永井写真事務所

コンサートは三部構成で、第一部は大人の演奏、第二部ではひたちなか市立那珂湊中学校吹奏楽部のゲスト出演。第三部では出演者の共演という演奏でした。部活動が学校から地域へ移行されるという方針の中、今回地域の中学生との共演が実現されたことはたいへん、意義のある企画とであると感じました。これからの市民バンドフェスティバル開催の新たなケースの指標となったのではないかと感じました。

今後も大学・職場、一般事業部の活動に御理解と御支援の程よろしくお願いたします。

令和5年度県吹連後援 **演奏会の記録** (加盟団体のみ)

月	団体名	演奏会名	月	団体名	演奏会名
4月	取手交響吹奏楽団	第21回定期演奏会	12月	日立市民吹奏楽団	ポップスコンサート2023
	県立並木中等教育学校	第25回定期演奏会		茨城高等学校・中学校	第64回定期演奏会
	県立緑岡高等学校	第15回定期演奏会	1月	リベルタウィンズ	第13回定期演奏会
	大成女子高・茨城高	第8回茨城高等学校・大成女子高等学校ジョイントコンサート		水戸市民吹奏楽団	第46回定期演奏会
	県立銚田第一高等学校・附属中学校	令和5年度 定期演奏会		常陸太田市民吹奏楽団	2024ニューイヤーコンサート
5月	県立日立第一高等学校	第48回定期演奏会	県立守谷高等学校	NEW YEAR CONCERT 2024	
	ひたちなか交響吹奏楽団	第26回定期演奏会	茨城工業高等専門学校	New Year Concert 2024	
	県立桜ノ牧高等学校	第29回定期演奏会	潮来市内中学校	潮来市吹奏楽部合同演奏会	
	下妻市立下妻中学校	第15回定期演奏会	結城吹奏楽団	第24回定期演奏会	
	阿見吹奏楽団	第39回定期演奏会	2月	古河シティウインドオーケストラ	第14回ウィンターファミリーコンサート
	水戸交響吹奏楽団	第26回定期演奏会	常磐大学吹奏楽団	第39回定期演奏会	
	日立市民吹奏楽団	第39回定期演奏会	水戸内原吹奏楽団	第11回サンクスコンサート	
6月	古河シティウインドオーケストラ	第26回定期演奏会	水城高・常磐大高・日本ウェルネス高	フレンドシップコンサート2024	
	明秀学園日立高等学校	第11回定期演奏会	水戸市立笠原小学校	東関東吹奏楽コンクール出場記念演奏会～第30回定期演奏会～	
	県立日立第二高等学校	第22回定期演奏会	藤代ゲネラルシンフォニックオーケストラ	小さな音楽会	
	土浦吹奏楽団	第12回定期演奏会	県立土浦第二高等学校	第25回定期演奏会	
	県立太田第一高等学校	第28回定期演奏会	八千代町立八千代第一中学校	スプリングコンサート	
	筑波大学吹奏楽団	第89回定期演奏会	古河市立三和北中学校	第21回定期演奏会	
	県立下妻第一高等学校	第5回定期演奏会	大成女子高等学校	第9回フレッシュバンドコンテスト	
	県立多賀高等学校	第6回定期演奏会	3月	県立水海道第一高等学校・附属中学校	第30回定期演奏会
	つくば市立並木中学校	第3回サマーコンサート	聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校	第35回定期演奏会	
	常陸太田市内中学校	第27回常陸太田市内中学校吹奏楽部合同演奏会	県立土浦湖北高等学校	第4回定期演奏会	
7月	あゆなまみあな吹奏楽団	第11回定期演奏会	4月	愛♡I Wind Orchestra	第13回定期演奏会
	古河吹奏楽団	第54回定期演奏会	県立那珂高等学校	第29回演奏会	
	8月	県立古河第三高等学校	第46回定期演奏会	筑西市立下館南中学校	第5回定期演奏会
9月	ひたちなか市立佐野中学校	定期演奏会	坂東市立猿島中学校	定期演奏会	
	大成女子高等学校	第55回定期演奏会	境町立境第一中学校	第30回定期演奏会	
10月	水戸内原吹奏楽団	第12回定期演奏会	ひたちなか市立勝田第一中学校	第40回定期演奏会	
11月	筑波学園都市吹奏楽団	第37回定期演奏会	茨城高等学校・中学校	第23回スプリングコンサート	
	水戸シンフォニックアンサンブル	第37回定期演奏会	県立竹園高等学校	第39回定期演奏会	
	しもだて吹奏楽団	第3回スマイルコンサート	日立市立多賀中学校	第17回定期演奏会	
12月	筑波大学吹奏楽団	第90回記念定期演奏会	5月	県立牛久栄進高等学校	第32回定期演奏会

編集後記

広報委員長 古谷 讓

「吹連いばらき」の編集を無事終えました。今回の寄稿にはコロナ禍後や部活動改革に翻弄されることなく、目の前の子供たちやメンバーにかける熱い思いが溢るのを感じました。そこに指揮者クルレンツイスの「ノート（音符）よりハート（こころ）」という言葉を思い出しました。

吹奏楽という世界はこれまでサブカルチャー的な側面がありましたが、こうした皆様の熱い思いにより、長い年月をかけて、カルチャーに少しずつ変化してきたように感じます。

また、各事業部・各地区の取り組みにも、時代の変化を感じ取り、よりよい方向へ進もうとする努力を感じました。

皆様には「吹連いばらき」本号をお読み頂き、新たな挑戦のきっかけになれば幸いです。

最後になりましたが、本号の原稿依頼にこころよく御協力くださいました皆様方に感謝申し上げます。

広報委員

- 佐々木 孝明 (県東地区長)
- 古谷 讓 (県南地区長)
- 古井 忍 (県西地区長)
- 武藤 隆行 (県北地区長)
- 仁平 良治 (中央地区長)
- 田熊 典子 (事務局職員)